2020年度海外事業概況調査

＜調査の目的＞

① 会員企業（＝日系自動車部品メーカー）の
世界経済への貢献度を示す統計資料の作成

② 会員企業の海外事業展開における
共通課題抽出と部工会事業への反映

③ 部品業界全般の海外事業動向や一般的な質問は公表資料で対応し
個社への一般質問を削減

一般社団法人　日本自動車部品工業会　国際委員会

2021年12月17日

目　次

1. 本年度調査の概要

2. 本年度調査結果のポイント

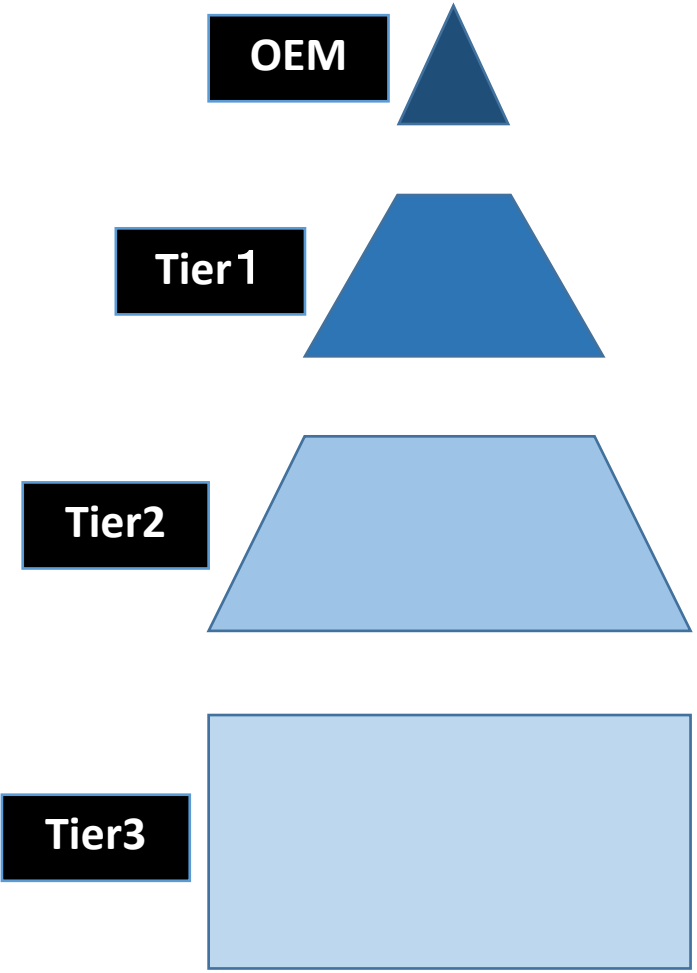
3. 日系自動車メーカー　生産台数推移

4. 部工会会員の海外法人数推移

5. 部工会会員の海外生産機能法人
(1)生産機能法人数推移
(2)雇用者数推移
(3)売上高推移
(4)売り先別比率
(5)単年度黒字法人比率、採算状況「感」
(6)現地調達率

6. 本年度のトピックス調査
(1)直近の課題　①物流の混乱、②半導体不足、③新型コロナウイルス
(2)経済連携協定への対応
(3)経済安全保障への対応

1. 本年度調査の概要



自動車メーカー

部工会会員企業
427社（2021.7現在）

構成部品

鍛造・鋳造品

射出成型品

素材

etc.

	本年度	昨年度
調査時期	2021年 6～9月	2020年 7～9月
対象企業数	427社	426社
調査対象期間	2020年度 会計年度	2019年度 会計年度
回答率	84.5% 236社/279社（※） 内中小企業98社 大企業181社	78.9% 214社/271社（※） 内中小企業92社 大企業179社

（※）分母は海外に法人を持っている会員企業数

2. 本年度調査結果のポイント

●日系自動車メーカーの海外生産台数

- 2020年の日系自動車メーカーの海外生産台数は1,537万台で、対前年比△18.4%。

●部工会会員の海外展開状況（海外法人数の動向）

- 海外法人数は2,696法人、前年比△35法人（△1.3%）。
- 特に中国は△16法人と減少が大きい。

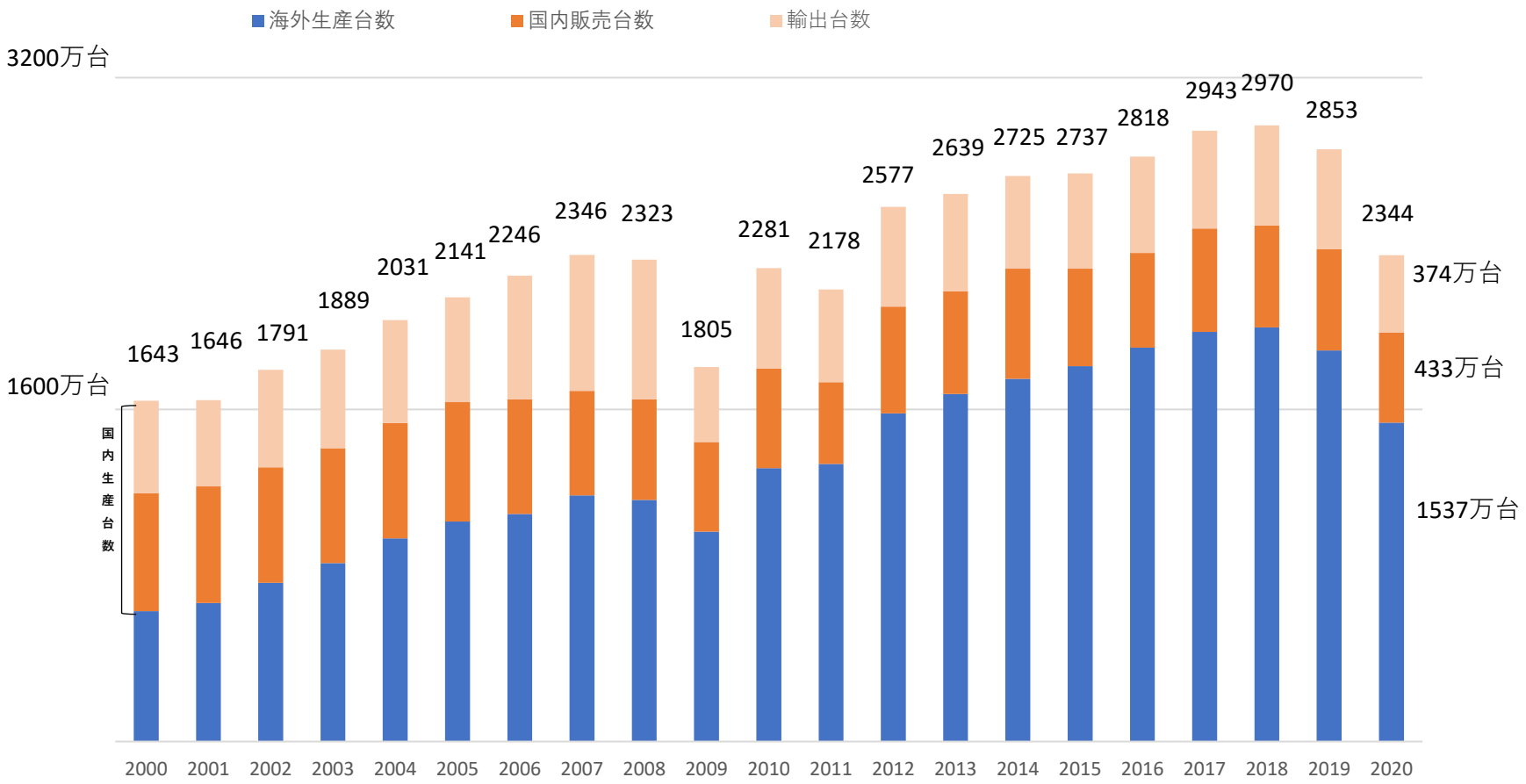
●生産機能法人の動向

- 売上高は全体で△2.2兆円、△12%。アセアン、欧州、北米で大きく減額。中国は増額。
- 雇用者数は、合計で150万人超に。
- 売り先別比率は、地産地消の傾向は変わらず。
- 黒字法人比率、採算状況「感」は、中国のみ良化傾向。納入先自動車メーカーの好調さ（コロナ前の水準に回復）などによる。
- 現地調達率は、グローバルで70～80%と高水準で推移。コストと品質の両立が課題。

●トピックス調査

直近の課題3点（物流の混乱、半導体不足、新型コロナウイルスの影響）、経済連携協定への対応、経済安全保障への対応を調査。

3. 日系自動車メーカー　生産台数推移



資料：日本自動車工業会

- 海外生産台数は2019年比△18.4%の1,537万台、国内生産台数は△16.7%。

4. 部工会会員の海外法人数推移

海外法人数

	北米	欧州	中国	アセアン	インド	その他	合計
2020年	538	355	640	722	138	303	2,696
2019年	540	367	656	723	136	309	2,731
対2019年増減数	-2	-12	-16	-1	+2	-6	**-35**

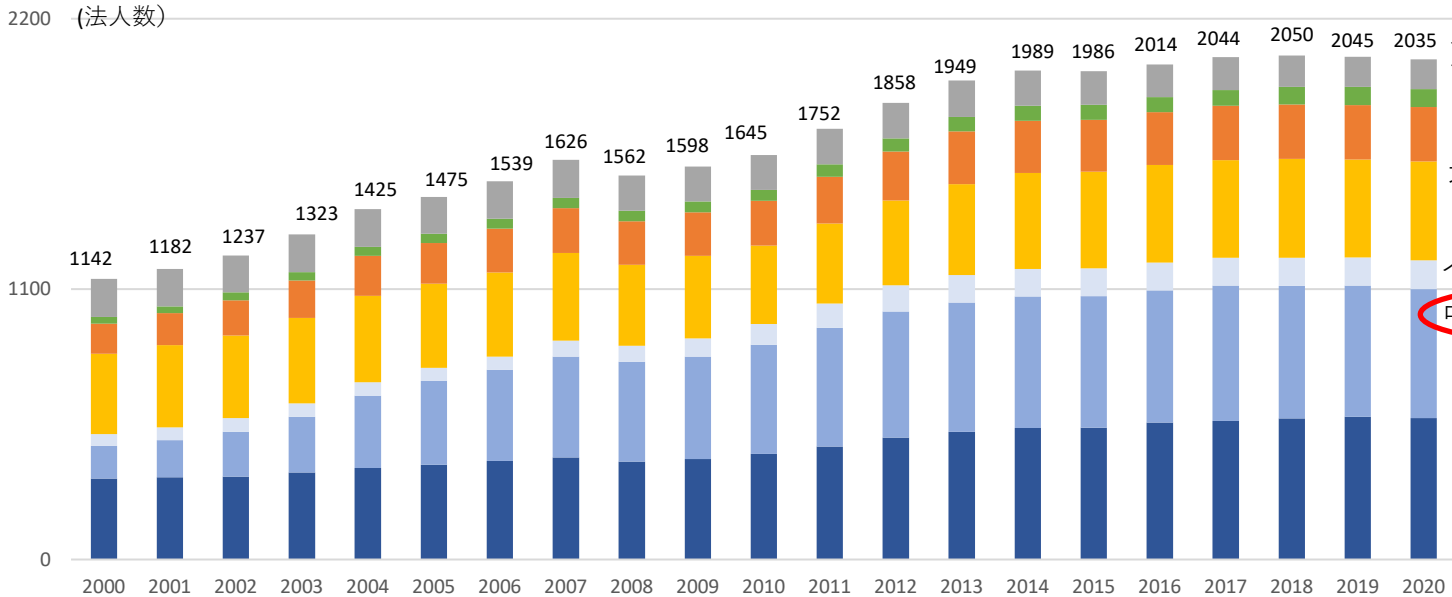
海外法人機能別内訳（対象現地法人　2,696社）

		北米	欧州	中国	アセアン	インド	その他	合計	対2020年増減
生産機能	2020年	402	221	525	575	117	195	2035	**-10**
	2019年	398	221	533	581	115	197	2045	
販売機能	2020年	126	122	119	167	35	116	685	**122**
	2019年	106	117	88	124	24	104	563	
管理・統括機能	2020年	42	36	29	28	5	10	150	27
	2019年	35	34	27	18	3	6	123	
設計・開発機能	2020年	29	38	39	29	10	15	160	36
	2019年	21	29	34	25	7	8	124	
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ機能	2020年	11	15	12	8	4	11	61	4
	2019年	11	16	11	6	3	10	57	
その他の機能	2020年	15	22	21	11	3	12	84	18
	2019年	15	17	14	8	2	10	66	

注：1つの法人に対し、全ての機能を調査（複数回答可）

- 海外法人数は全体で35法人減少、中国（△16）、欧州（△12）での減少が大きい。
- 尚、内訳別の販売機能法人+122は、複数（機能）回答可としたことによる。

5. 部工会会員の海外生産機能法人　(1)生産機能法人数　推移

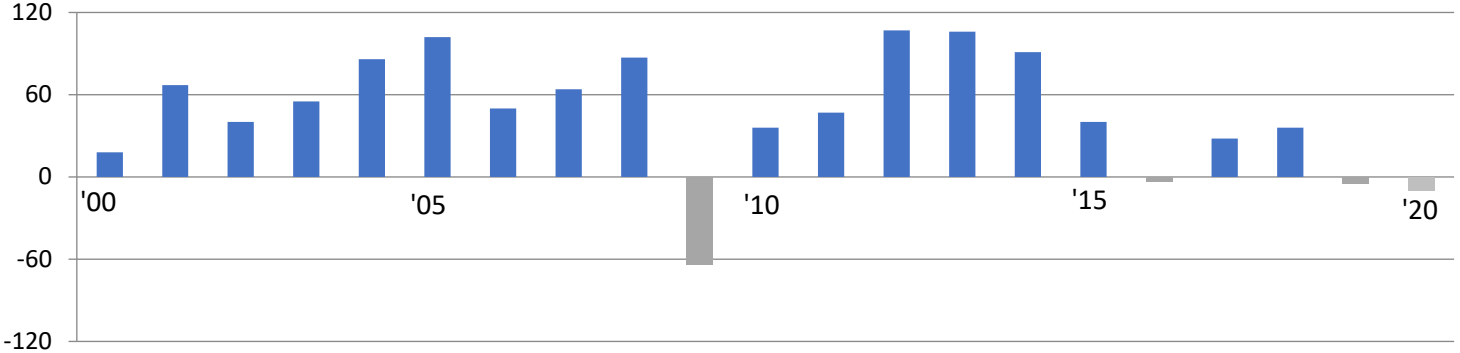


	2019年比 増減	2020年 構成比
その他	-2,	6%)
南　米	±0,	4%)
欧　州	±0,	11%)
北　米	+4,	20%)
インド	+2,	6%)
中　国	-8,	26%)
アセアン	-6,	28%)

「-8」の内訳

うち退会に伴う減	-6	-24
うち撤退に伴う減	-1	
うち事業統合、連結対象外	-13	
うち理由不明	-4	
うち新規設立等	16	16

【増減の推移】



- **生産機能法人数は、2018年をピークに2年連続で減少。減少幅は小さいものの2019年の△5から2020年△10に拡大した。**
- **減少の大きい中国は、新規設立16法人があるものの、事業統合／連結対象外へ移行などの理由で△8法人。**

5. 部工会会員の海外生産機能法人　(1)生産機能法人数　推移

JAPIA Japan Auto Parts Industries Association

8/27

海外生産法人　対前年増加数上位国

	1998	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1	中国 (+16)	中国 (+10)	中国 (+28)	中国 (+38)	中国 (+31)	メキシコ (+16)	メキシコ (+15)	メキシコ (+6)	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ (+8)	中国 (+13)	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ メキシコ (+5)	ﾌｨﾘﾋﾟﾝ (+5)	ﾒｷｼｺ (+5)
2	米国 (+14)	ｲﾝﾄﾞ (+9)	ﾀｲ (+10)	ｲﾝﾄﾞ (+15)	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ (+20)	中国 (+14)	ﾀｲ (+11)	ｲﾝﾄﾞ ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ (+2)	ﾀｲ (+6)	ﾀｲ ﾍﾞﾄﾅﾑ ﾌﾞﾗｼﾞﾙ (+3)		ﾌﾞﾗｼﾞﾙ (+3)	(参考) 中国△8 ﾀｲ△1 ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ△2
3	ｲﾝﾄﾞ (+9)	ﾀｲ (+7)	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ (+9)	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ (+14)	メキシコ (+15)	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ (+13)	中国 (+8)		メキシコ ﾌｨﾘﾋﾟﾝ ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ 中国 (+3)		ﾌﾞﾗｼﾞﾙ (+4)	ﾀｲ 英国 (+2)	
4	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ 韓国 (+4)	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ メキシコ (+3)	ﾍﾞﾄﾅﾑ ﾄﾞｲﾂ ﾓﾛｯｺ (+3)	ﾀｲ (+4)	ｲﾝﾄﾞ (+8)	米国 (+8)	ﾍﾞﾄﾅﾑ (+5)	ﾏﾚｰｼｱ ﾍﾞﾄﾅﾑ ﾗｵｽ ﾊﾟﾗｸﾞｱｲ ﾌﾗﾝｽ ﾓﾙﾄﾞﾊﾞ (+1)			ﾀｲ ﾌﾗﾝｽ ﾓﾛｯｺ (+3)		
5				ﾌﾞﾗｼﾞﾙ (+7)	ﾍﾞﾄﾅﾑ (+6)	ﾛｼｱ (+6)	米国 (+4)			メキシコ イギリス イタリア (+2)		ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ カナダ ｽﾍﾟｲﾝ ﾄﾞｲﾂ ｲﾀﾘｱ ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ ﾄﾙｺ (+1)	
6	ﾀｲ (+4)	米国 (+2)		ﾒｷｼｺ (+6)	ﾀｲ (+4)	ﾀｲ (+5)	ﾌﾞﾗｼﾞﾙ (+2)						
7			ﾌﾗﾝｽ (+2)	ﾄﾞｲﾂ (+4)	ﾛｼｱ (+4)	ﾌﾞﾗｼﾞﾙ (+5)	ﾛｼｱ (+2)				ｲﾝﾄﾞ (+2)		
8				ﾏﾚｰｼｱ ﾍﾞﾄﾅﾑ ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ (+3)	ﾏﾚｰｼｱ 米国 ﾄﾙｺ (+3)	ｲﾝﾄﾞ ﾄﾞｲﾂ ﾁｪｺ (+4)					ﾌｨﾘﾋﾟﾝ ｺﾛﾝﾋﾞｱ ｴﾙｻﾙﾊﾞﾄﾞﾙ ﾊﾟﾗｸﾞｱｲ ｾﾙﾋﾞｱ (+1)		
9													
10													

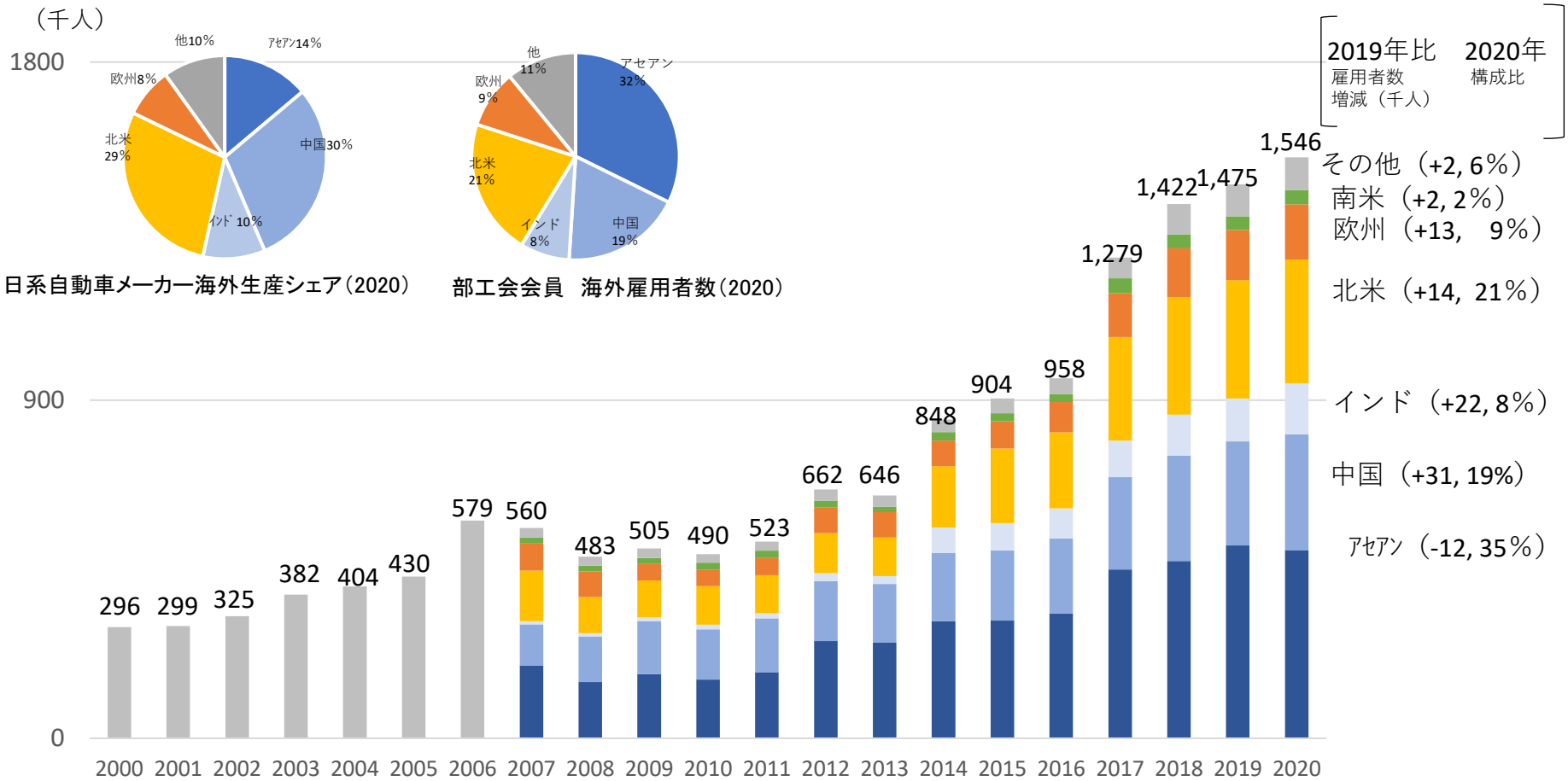
リーマンショック

東日本大震災

- 2020年はメキシコのみ増加、他の国は全て減少。
- メキシコ拠点増の理由にあげられているのは、USMCA対応、米国からの生産移管、メキシコでの新たな受注に対応するため、など。

5. 部工会会員の海外生産機能法人　(2)雇用者数　推移

地域別

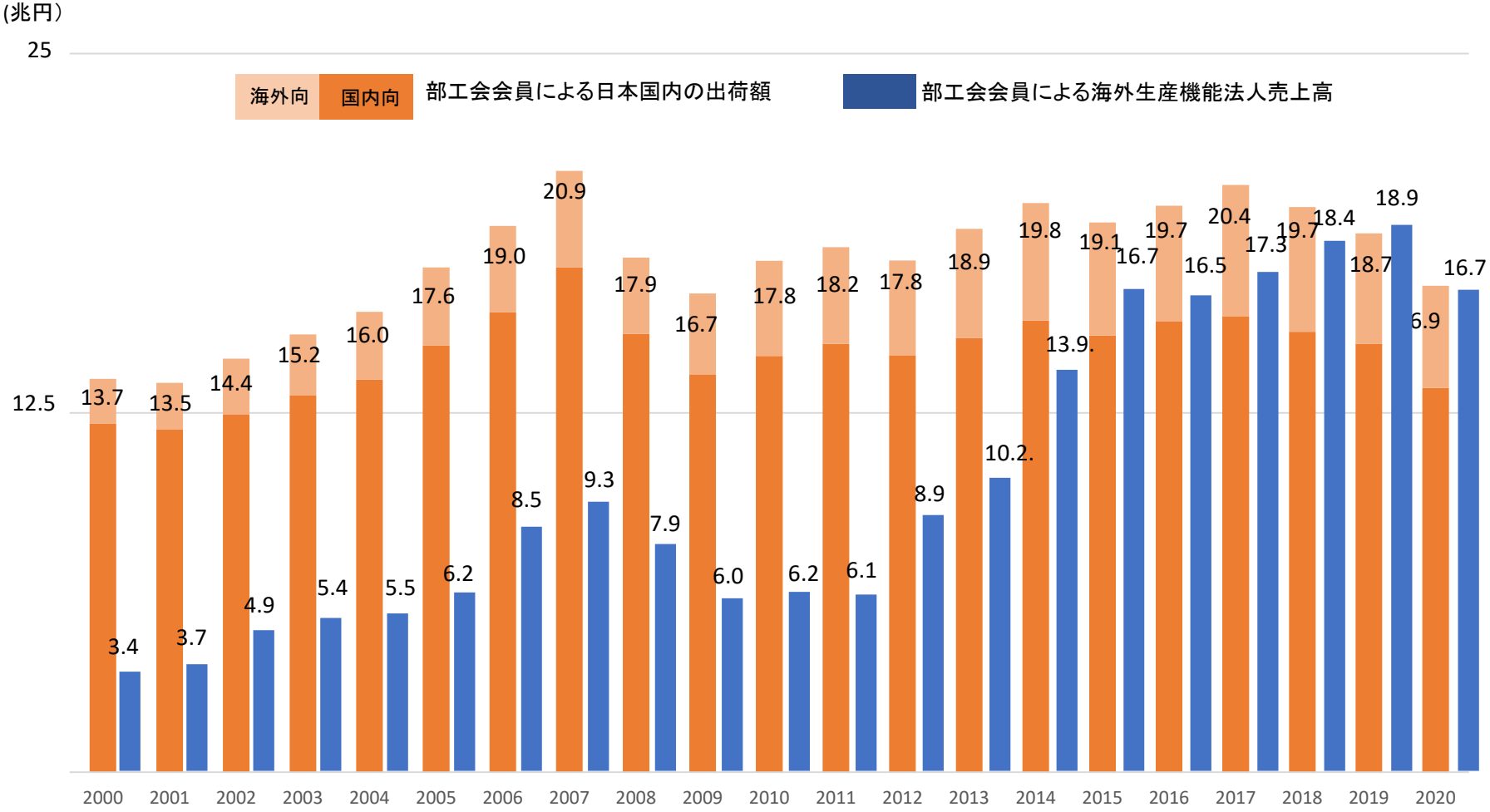


日系自動車メーカー海外生産シェア（2020）　部工会会員　海外雇用者数（2020）

- 海外生産機能法人の雇用者数は対前年比+5%、合計で150万人超に。
- 地域・国別で最大規模のアセアンが2013年以降初めて減少に転じた（△12千人）。
- 他地域は全て増加。中でも中国は、事業統合などによる雇用者減がある一方新規設立（16法人）もあり、中国全体で31千人増。

5. 部工会会員の海外生産機能法人　(3)売上高　推移

国内出荷額との比較

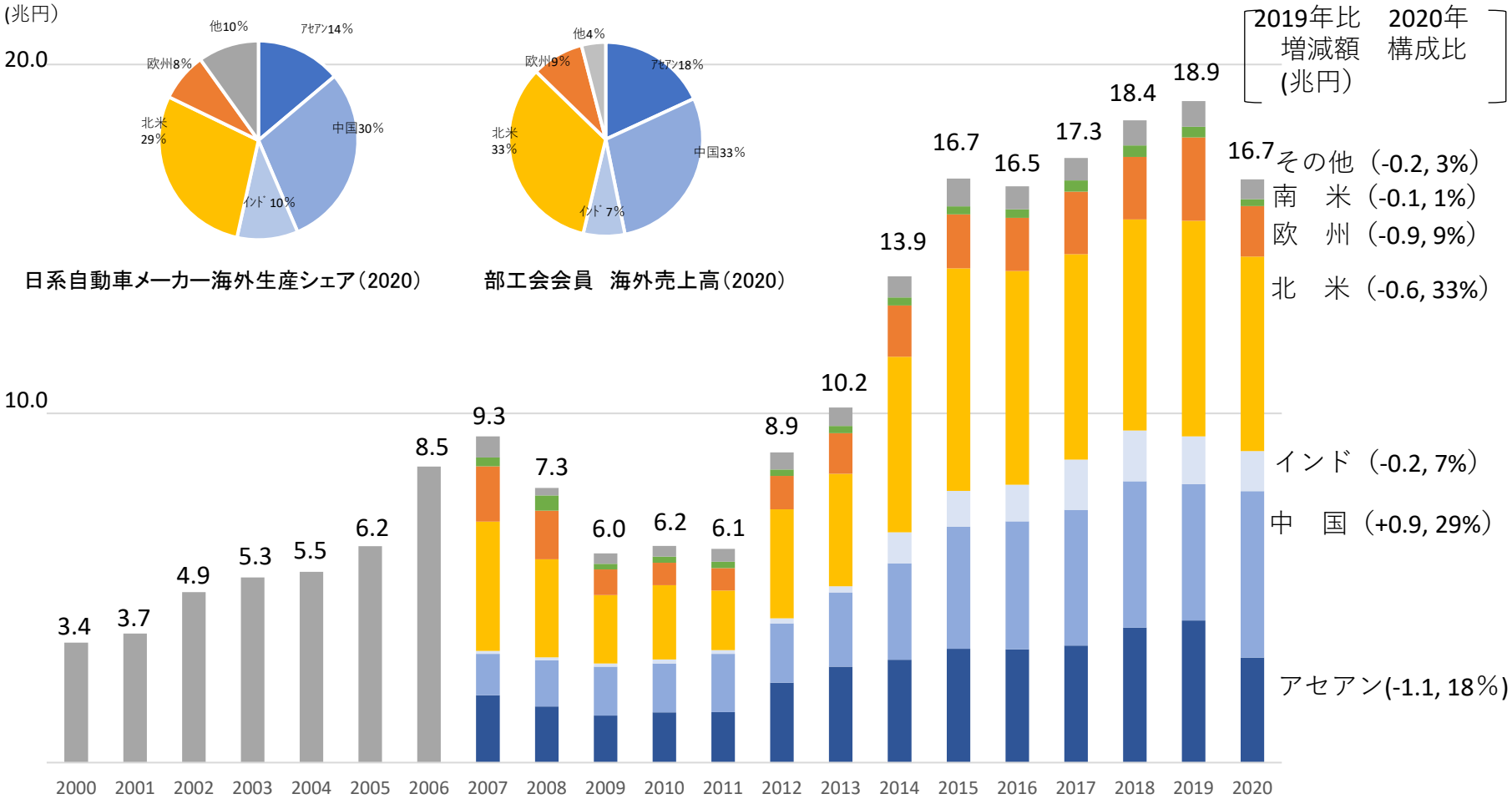


参考：2020年レート　US$＝￥106.82（TTM年間平均）

- 海外生産機能法人の売上高合計は16.7兆円。
- 対前年比△2.2兆円（△12%）。国内出荷額の減少幅△10%（見込み）よりやや大きい。
- 自動車の海外生産台数の減少（△18.4%）や、各国のロックダウンなどの影響。

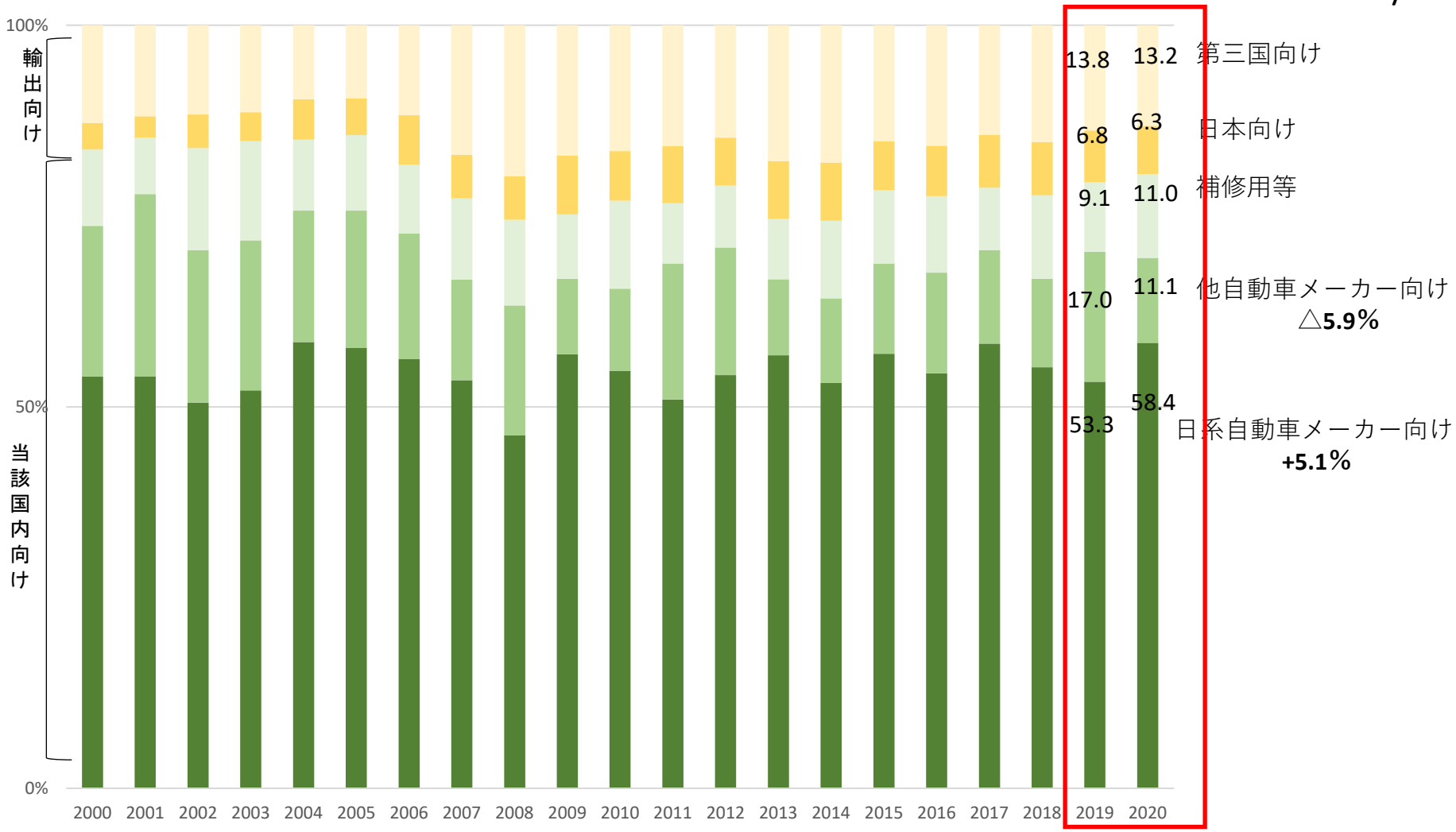
5. 部工会会員の海外生産機能法人　(3)売上高　推移

地域別



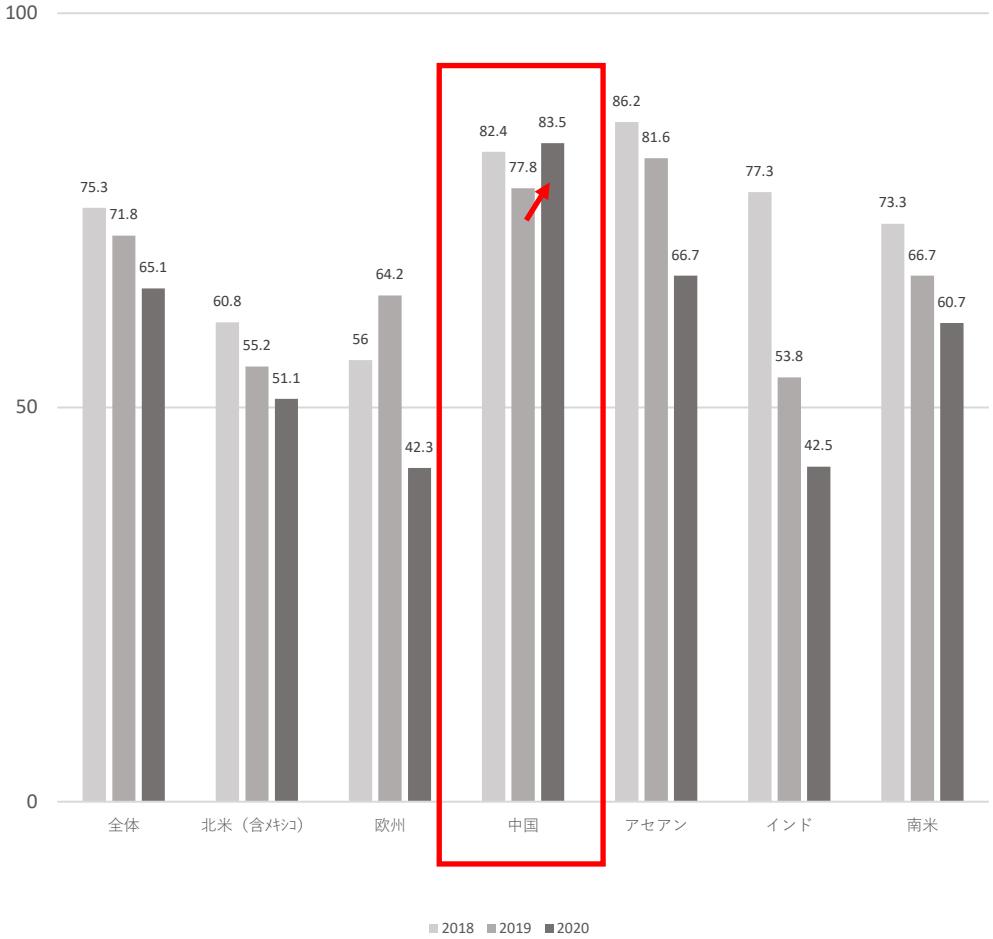
- 海外生産法人の2020年売上高は、中国を除き全地域で減少。
  減額が大きいのは、アセアン（△1.1兆円）、欧州（△0.9兆円）、北米（△0.6兆円）の順。
- 中国は0.9兆円の増額。

5. 部工会会員の海外生産機能法人　(4)売り先別比率

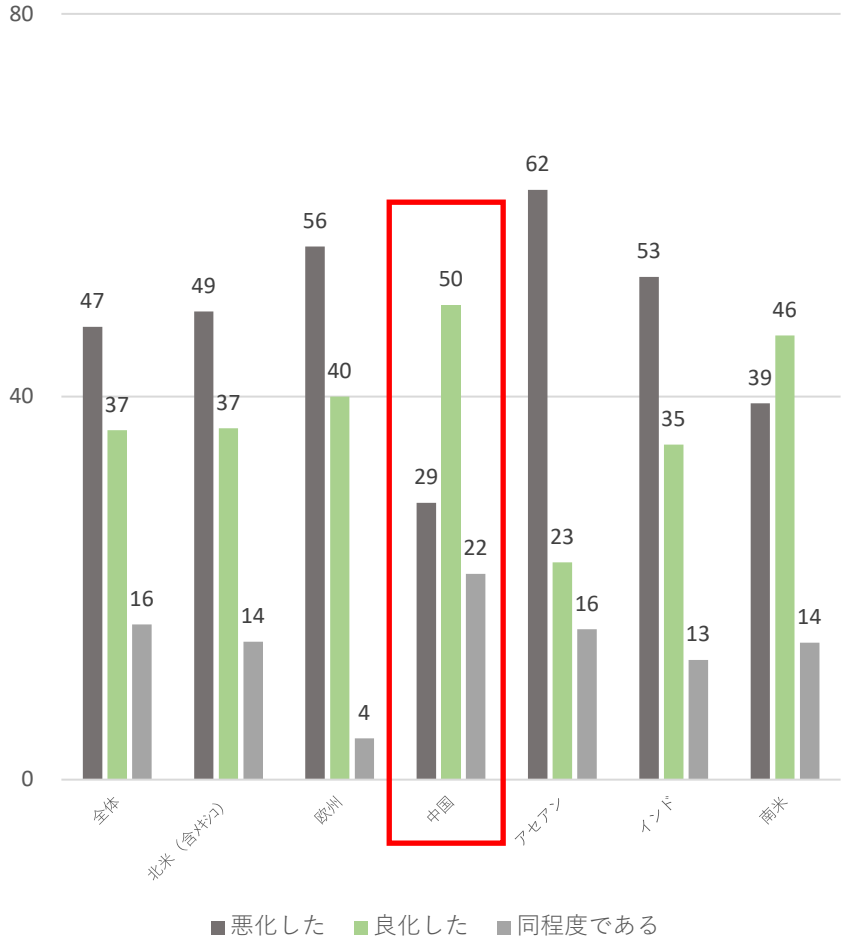


- 第三国向けと日本向けを合わせたシェアは2019年20.6%、2020年19.5%と自動車部品の地産地消の傾向は変わらず。
- 当該国内ではコロナ禍で全体の売り上げが減少する中、日系自動車メーカーへの依存度が高まっている。

単年度黒字法人比率　推移（3年間）

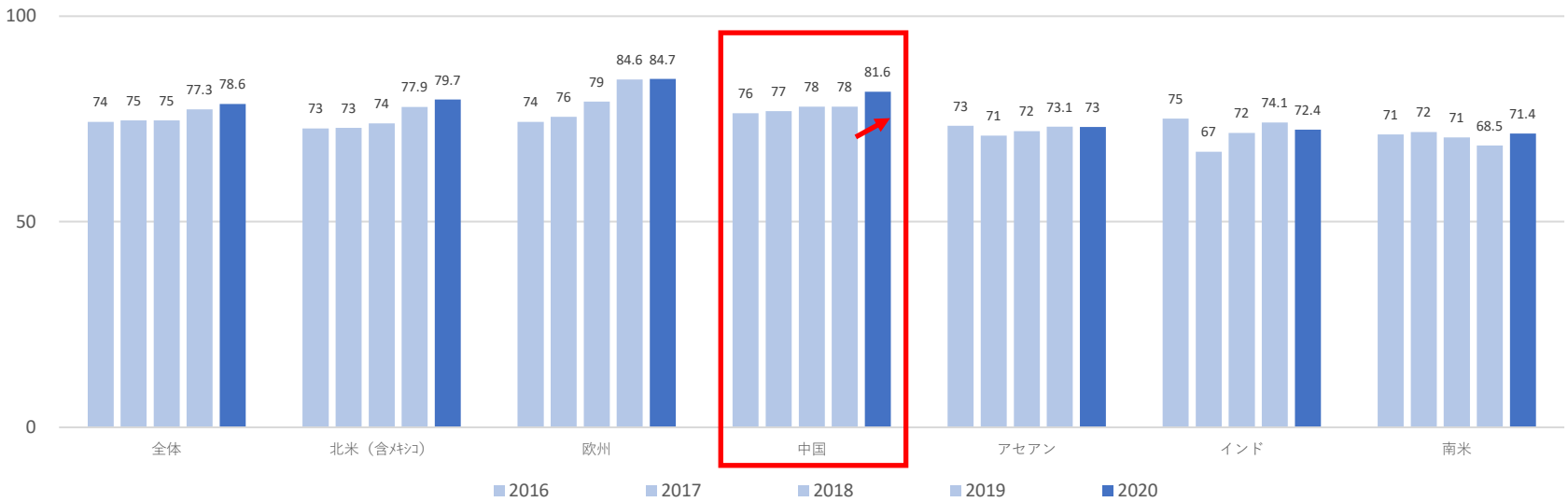


2019年に対し2020年の採算状況「感」



- 中国のみ黒字・良化傾向。
- 理由にあげられているのは、納入先自動車メーカーの好調さ、新たな受注増、高付加価値製品の拡販、固定費の削減、間接材費の抑制効果など。

5. 部工会会員の海外生産機能法人　(6)現地調達率



注：2016~2018は単純平均、2019以降は加重平均

＜現地調達の困り事(アンケート回答より　自由記述　順不同）＞

＜北米＞

- コストと品質を両立する仕入先がなかなかない(複数社回答あり)
- 労働市場がひっ迫しており必要な労働力が確保出来ていない（複数社回答あり）
- 材料費の高騰、賃金上昇の負担
- 人の出入りが激しい・人の採用が困難
- 現地製品（粗材）が高い

＜欧州＞

（特になし）
※トルコで加工設備をつくるメーカーがない・電気技師（ソフト）がいないとの意見あり

＜中国＞

- 品質問題
- 安価な部品や材料の入手ができない
- 要求品質を満たす事が出来る表面処理（ジオメット）メーカーが1社しかない

＜アセアン＞

- 低コストな調達先の確保

＜インド＞

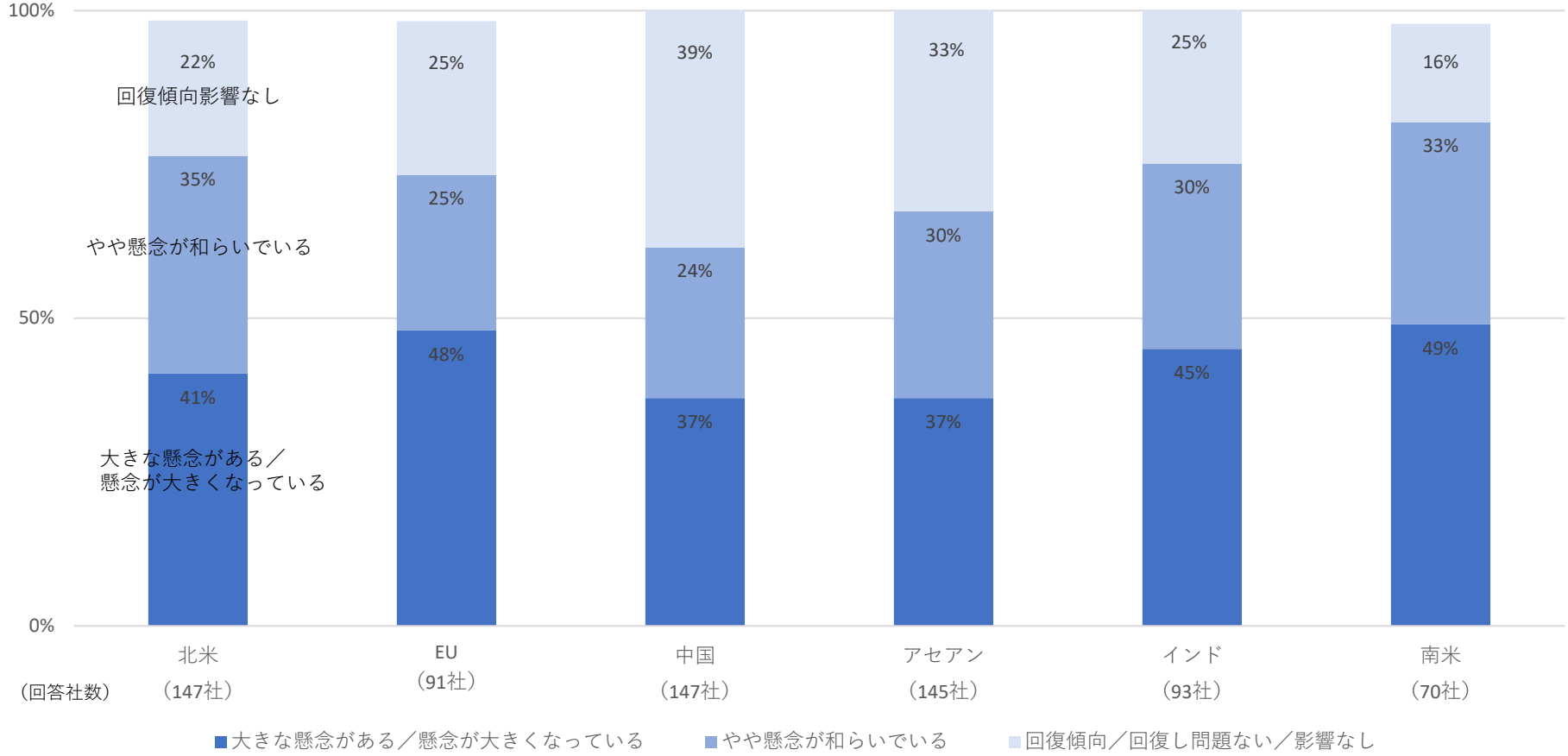
- 図面内規格条件指示の理解に時間がかかる
- 品質問題

- **現地調達率は、全ての国/地域で70～80%の高水準で推移。**
- **2020年は全体で1.3ポイントの上昇で、中国の伸び（+3.6ポイント）が他地域を上回っている。インドは1.7ポイント減少。**

6. 本年度のトピックス調査　(1)直近の課題（2021年7月時点）

ー直近の課題として、①物流（の混乱）、②半導体不足、③新型コロナウイルスの3点を提示し、それぞれの影響度合いを調査ー

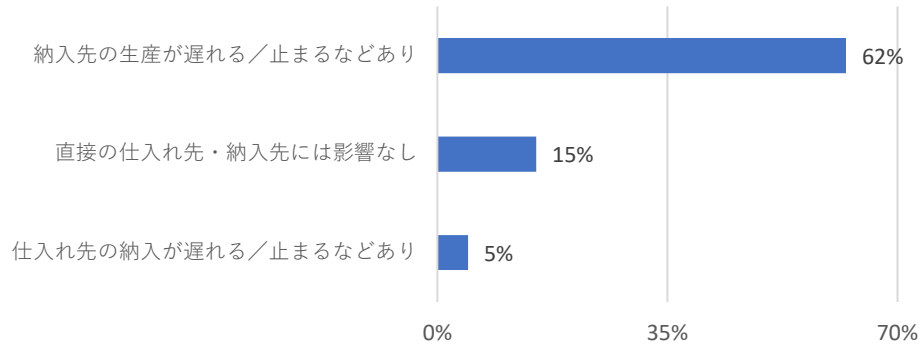
①物流の混乱（地域別）



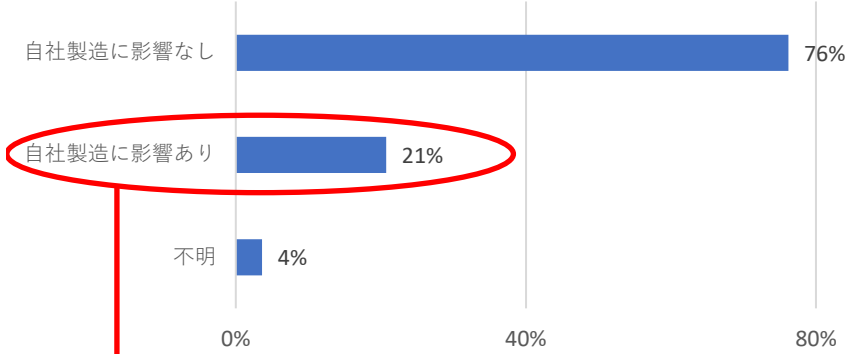
- **調査時点（2021年7月）では海上輸送の混乱は一時的に改善に向かい、大きな懸念がある／懸念が大きくなっている は、どの地域でも50%未満。**
- **ただし現時点（2021年12月）は再び悪化傾向で、解消の見通しを立てるのは難しい状況。**

②半導体不足の影響

＜サプライチェーンへの影響（回答193社）＞



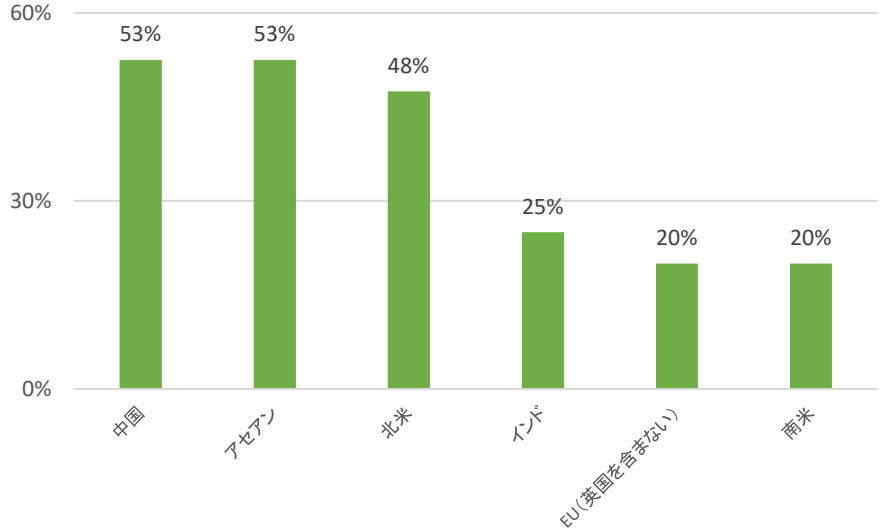
＜自社製品への影響（回答193社）＞



＜政府の戦略への主な意見（順不同）＞

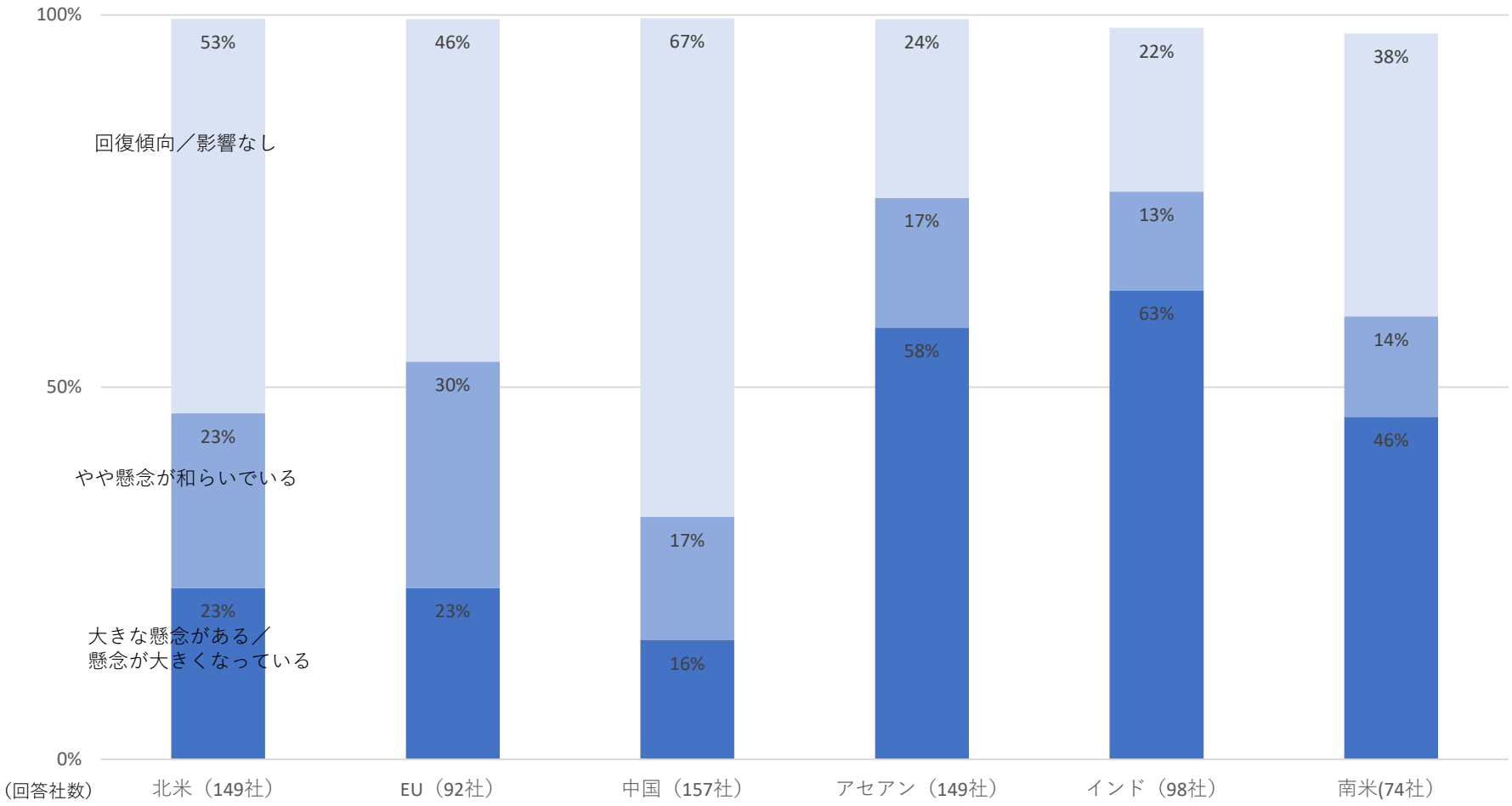
- 国としての半導体確保・BCP管理・安定供給の仕組み構築
- 半導体だけでなく同様な懸念のある基幹部品のリストアップと安定供給体制の構築
- 半導体の材料・製造手法も含めた日本の競争優位性の確保
- 半導体不足で影響を受けるニッチな技術への支援
- 自動車産業への安定供給
- 特定産業の管理は両刃の刃であることから政府方針の明示・情報の透明性・関連業界との協調性が重要
- 経済的優遇措置に加えベンチャー企業／スタートアップ企業への機会提供の施策化

＜影響がある地域＞



- 納入先は影響を受けたが自社製品には影響のない企業が多く、自動車メーカーの方が大きな影響を受けている。

③新型コロナウイルスの影響（地域別）

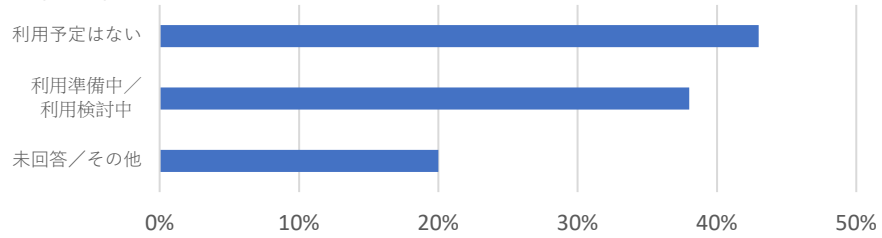


- 新型コロナウイルスの影響は、中国、北米、EUでは、回復／影響なし が50%程度。
- アセアン、インドは影響が大きい。

①RCEPへの対応

自社の輸出入ではすぐには関税メリットは出ないが、納入先から原産性証明の要請などがあり、利用を検討中。

（回答193社）



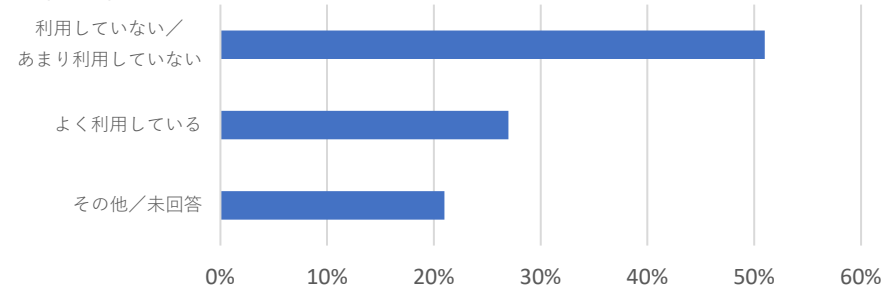
＜主な意見（順不同）＞

- 発効後数年～10年でメリットが出る。利用するため調査を行っている。
- 発効時、相手国側へ運用手続きなどを早めに公表するよう日本政府から働きかけてほしい。
- 中国輸入時のスムーズな通関手続きを望む。

②日EU・EPAの利用状況

日英EPAの発効もあり、利用していない企業も多い。

（回答193社）



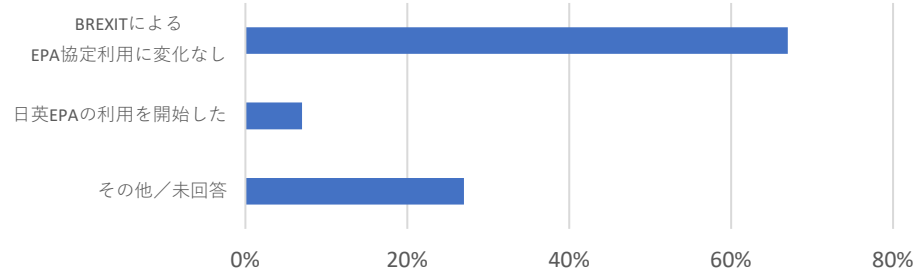
＜主な意見（順不同）＞

- 日本国内で製造した製品の輸出の際、現地顧客とのやりとり、物流の受け渡し等で多少困難さが増加。
- ドイツでの通関手続きのみ、原産地証明の提示に関して他国と比較して非常に煩雑。
- 日英EPA発効したため、日EUは利用していない。

③BREXITの影響

BREXITによる日EU、日EUなどEPAの利用に影響・変化はない。

（回答193社）



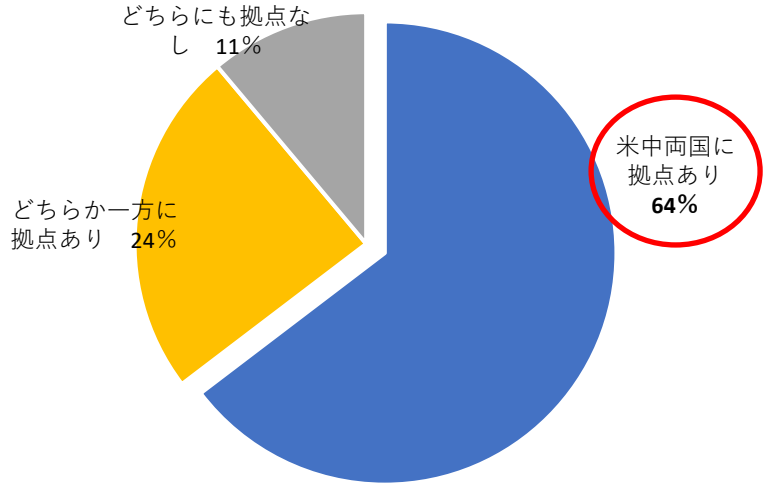
＜主な意見（順不同）＞

- 部品在庫のための外部倉庫の借り増しが長期化しており、コスト面・管理面等で経営負担になっている。
- 日EUを分かれることで、管理の手間が増加。
- 英EU協定において、日本を含む原産性の累積ができると良い。

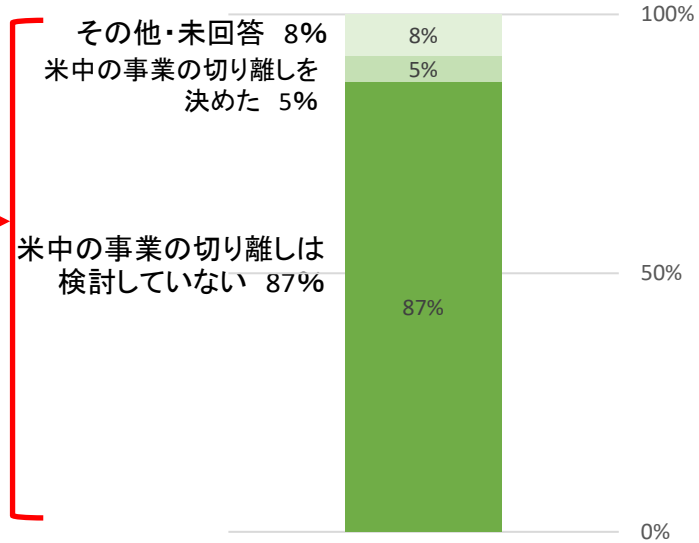
6. 本年度のトピックス調査　(3)経済安全保障への対応（2021年7月時点）

拠点の有無

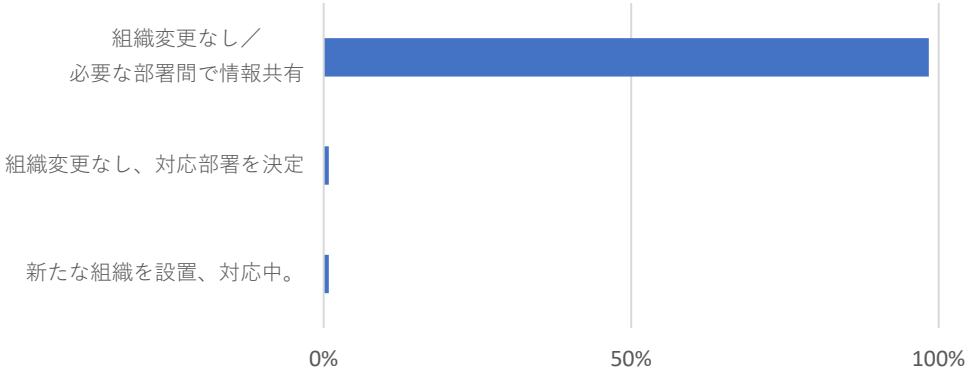
（回答193社）



米中の事業の切り離し



組織変更への主な意見



＜事業の切り離しへの主な意見＞

- 米中両国間での取引はない／それぞれの国で事業が成り立っている／相互関係にない／事業体が別系列のため懸念なし　など。
- 切り離しは検討していないが、インパクトが少なくなる対策を検討。
- 米国で、中国から調達している部材の調達先を、一部変更を検討
- 切り離しを実施済み。

- 米中両国に事業を持つ企業は、もともと米・中の事業は別々という企業が多い。
- 事業の切り離し／組織変更は、9割程度は現時点では検討していない。

当調査にご協力いただいた会員企業の皆様に深く御礼申し上げます。
今後の事業の参考にさせていただくとともに、自動車部品産業の更なる発展と会員企業のより円滑な事業活動の一助となれば幸いです。

補助資料

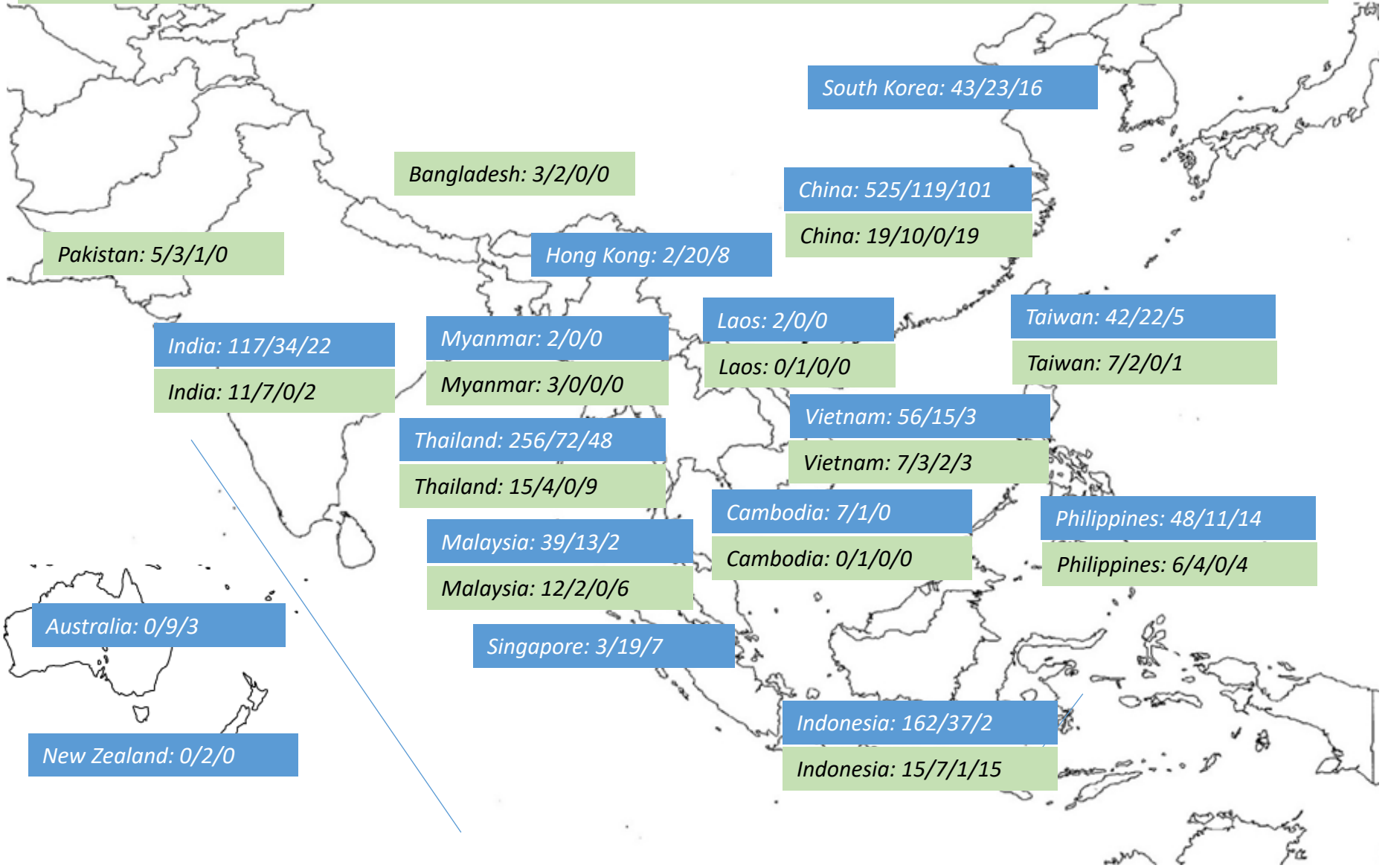
＜会員企業海外進出状況＞

＜世界四輪車販売台数(2020年）＞

＜補助資料　会員企業海外進出状況ーアジアー＞

☞ 自動車部品　国名：生産機能法人数/販売機能法人数/その他（管理・統括、設計・開発、マーケティング、他）

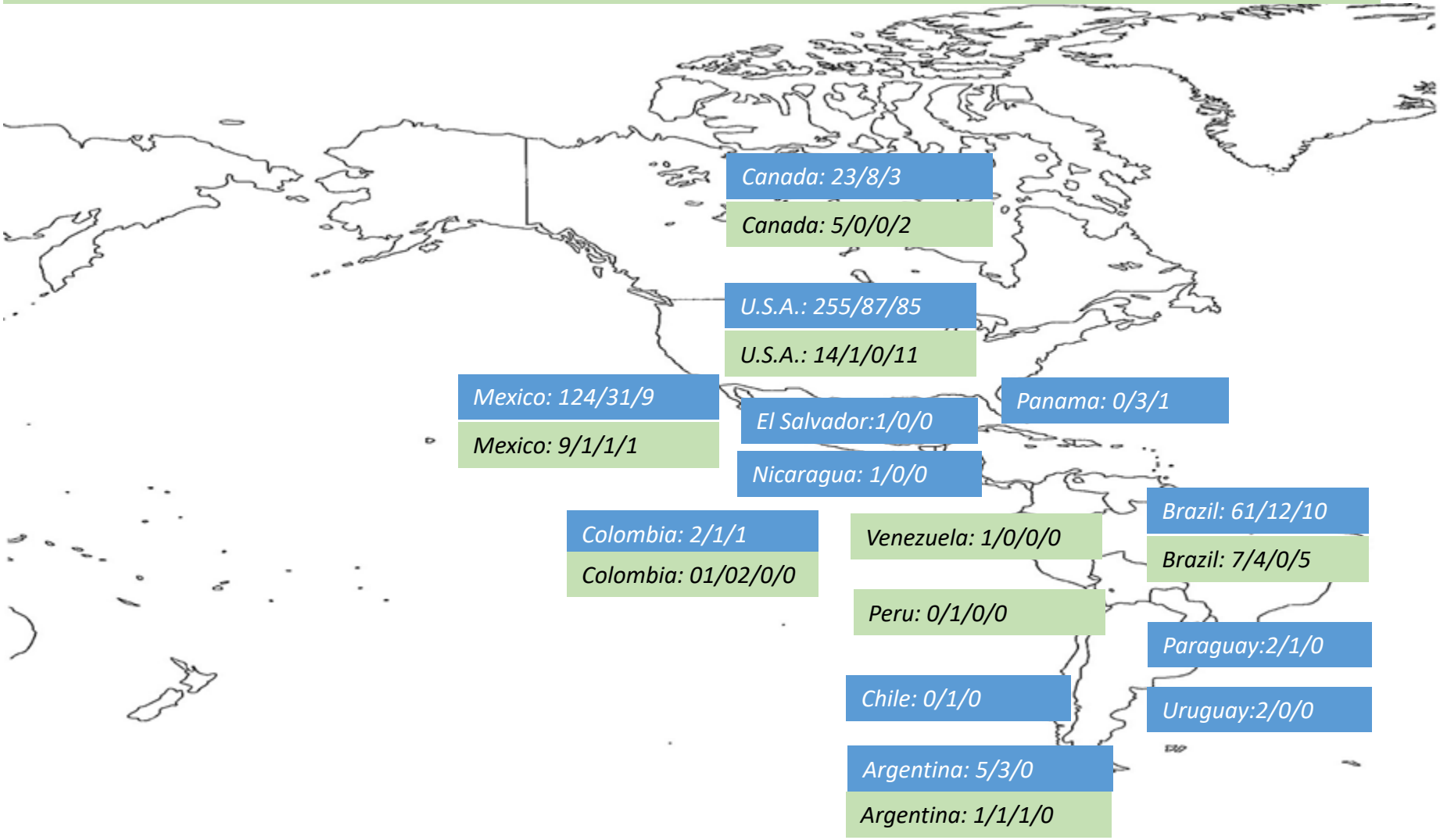
☞ 日系自動車メーカー現地生産工場数　国名：四輪車/二輪車/四輪車・二輪車/部品・資料：日本自動車工業会



＜補助資料　会員企業海外進出状況－北中南米－ ＞

☞ 自動車部品　国名：生産機能法人数/販売機能法人数/その他（管理・統括、設計・開発、マーケティング、他）

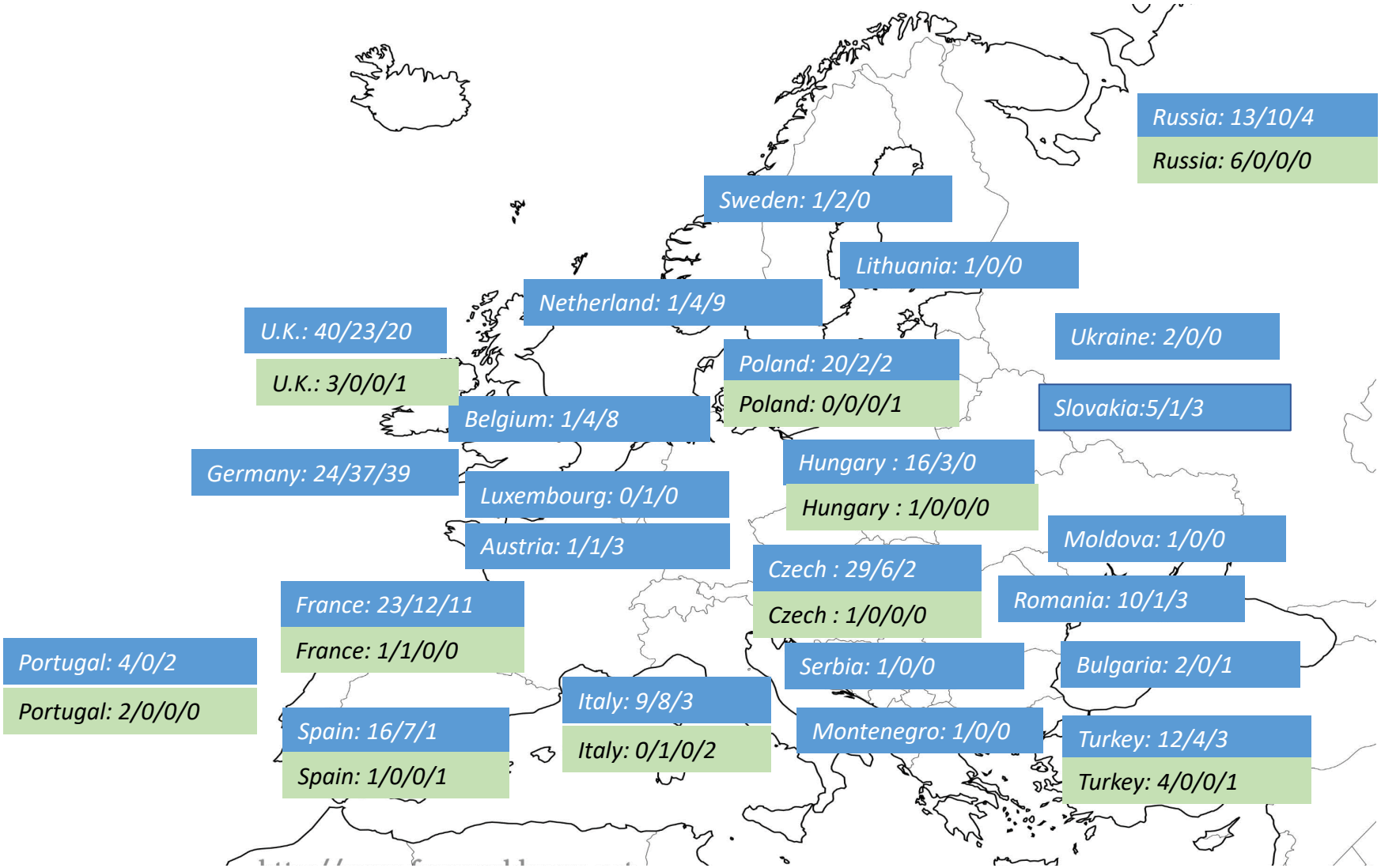
☞ 日系自動車メーカー現地生産工場数　国名：四輪車/二輪車/四輪車・二輪車/部品　＊資料：日本自動車工業会



＜補助資料　会員企業海外進出状況－欧州－ ＞

☞ 自動車部品　国名：生産機能法人数/販売機能法人数/その他（管理・統括、設計・開発、マーケティング、他）

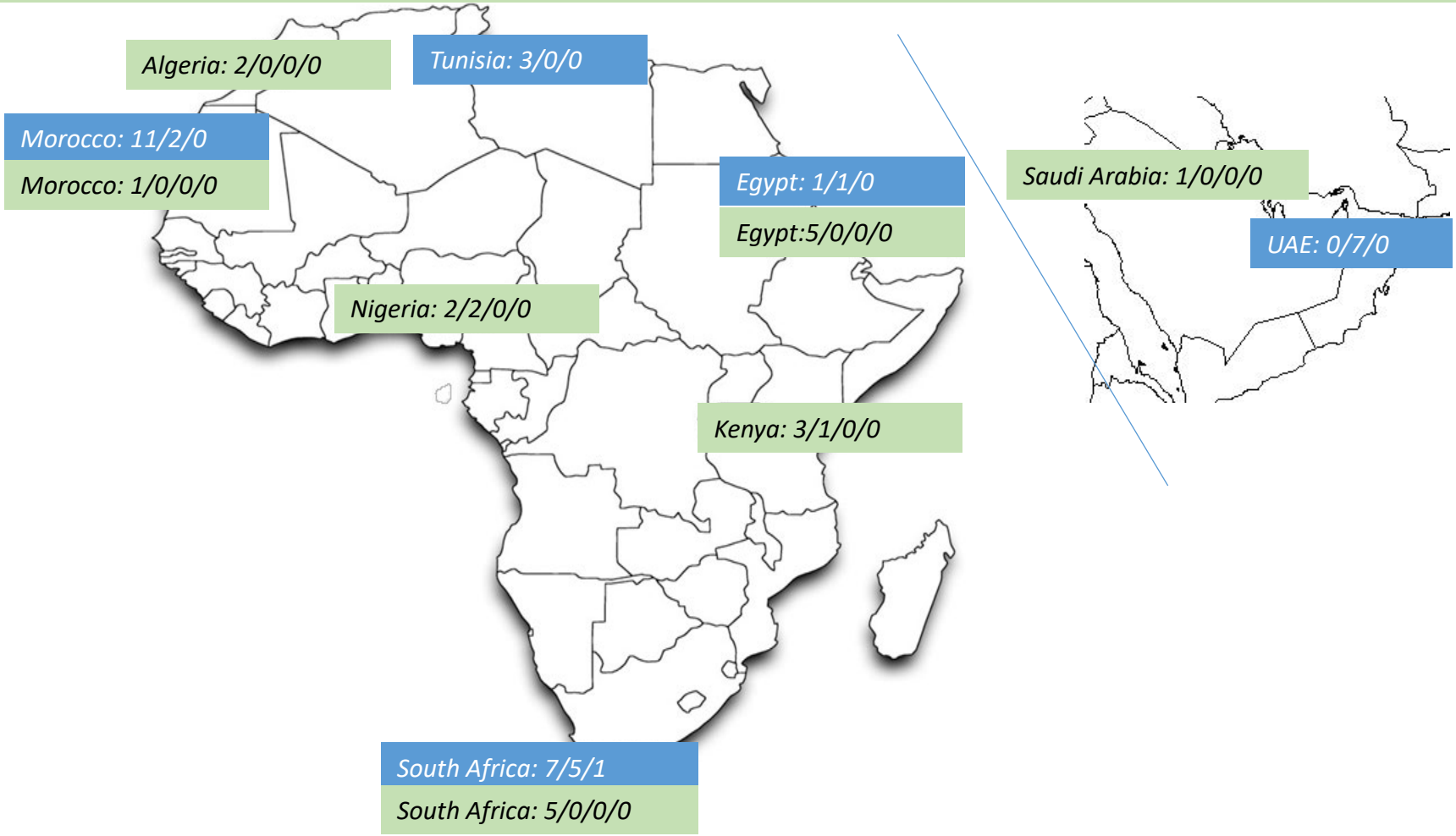
☞ 日系自動車メーカー現地生産工場数　国名：四輪車/二輪車/四輪車・二輪車/部品　＊資料：日本自動車工業会



＜補助資料　会員企業海外進出状況ーアフリカー ＞

☞ 自動車部品　国名：生産機能法人数/販売機能法人数/その他（管理・統括、設計・開発、マーケティング、他）

☞ 日系自動車メーカー現地生産工場数　国名：四輪車/二輪車/四輪車・二輪車/部品　＊資料：日本自動車工業会



＜補助資料　世界四輪車販売台数（2020年　出所：MarkLines）＞

グローバル販売台数　推移

出所：MarkLines

【グローバル販売台数】

単位：千台

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	6,929	6,098	8,600	6,886	7,271	7,380	6,810	6,850	7,229	7,140	7,376	7,756	86,325
	大型	193	181	259	219	230	238	212	202	202	207	215	217	2,576
	合計	7,122	6,279	8,859	7,105	7,501	7,618	7,022	7,052	7,430	7,347	7,591	7,974	88,900
2020年	小型・乗用車	6,161	4,794	5,183	3,802	4,926	6,227	6,467	6,210	7,444	7,213	7,229	7,862	73,519
	大型	199	159	210	187	191	229	219	201	234	224	227	213	2,493
	合計	6,360	4,953	5,393	3,989	5,118	6,456	6,686	6,411	7,678	7,437	7,456	8,075	76,012
	対前年同月比	89%	79%	61%	56%	68%	85%	95%	91%	103%	101%	98%	101%	86%

【地域別販売台数】

北米（内訳は別紙1）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	1,373	1,509	1,932	1,635	1,919	1,827	1,700	1,966	1,562	1,636	1,700	1,800	20,558
	大型	22	22	26	27	28	27	28	26	31	26	21	26	309
	合計	1,395	1,531	1,958	1,662	1,947	1,854	1,728	1,992	1,593	1,661	1,721	1,826	20,867
2020年	小型・乗用車	1,380	1,620	1,194	814	1,288	1,341	1,483	1,587	1,621	1,627	1,463	1,856	17,273
	大型	17	17	18	14	11	16	16	20	22	21	20	24	217
	合計	1,397	1,637	1,212	828	1,299	1,356	1,499	1,607	1,643	1,648	1,483	1,880	17,489
	対前年同月比	100%	107%	62%	50%	67%	73%	87%	81%	103%	99%	86%	103%	84%

欧州（※内訳は別紙1）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	1,468	1,419	2,147	1,668	1,758	1,829	1,629	1,357	1,603	1,545	1,544	1,612	19,579
	大型	36	35	43	41	47	48	39	41	32	39	40	35	478
	合計	1,504	1,454	2,191	1,710	1,805	1,878	1,668	1,399	1,636	1,584	1,583	1,648	20,057
2020年	小型・乗用車	1,381	1,337	1,138	385	807	1,436	1,591	1,168	1,651	1,453	1,371	1,530	15,248
	大型	34	33	31	22	25	34	36	33	38	42	41	36	406
	合計	1,415	1,370	1,169	406	833	1,470	1,627	1,201	1,688	1,495	1,412	1,566	15,654
	対前年同月比	94%	94%	53%	24%	46%	78%	98%	86%	103%	94%	89%	95%	78%

アセアン		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	294	247	298	258	288	241	276	270	267	280	263	240	3,222
	大型	12	10	17	15	15	14	15	14	15	16	17	17	176
	合計	306	257	315	273	303	255	291	284	282	296	280	257	3,398
2020年	小型・乗用車	250	242	209	76	94	145	179	188	214	220	224	239	2,280
	大型	11	14	12	5	8	11	13	12	14	13	13	15	143
	合計	261	256	221	82	102	156	192	200	228	233	238	255	2,424
	対前年同月比	85%	100%	70%	30%	34%	61%	66%	70%	81%	79%	85%	99%	71%

＜補助資料　世界四輪車販売台数（2020年　出所：MarkLines）＞

中国		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	2,319	1,445	2,446	1,921	1,853	1,993	1,765	1,919	2,228	2,234	2,396	2,598	25,116
	大型	48	37	74	60	59	64	43	39	43	50	61	60	639
	合計	2,367	1,482	2,520	1,980	1,913	2,056	1,808	1,958	2,271	2,284	2,457	2,658	25,754
2020年	小型・乗用車	1,860	286	1,361	1,967	2,097	2,207	2,036	2,118	2,485	2,497	2,692	2,771	24,379
	大型	67	24	69	103	96	92	76	68	81	76	77	61	889
	合計	1,927	310	1,430	2,070	2,194	2,300	2,112	2,186	2,565	2,573	2,770	2,831	25,268
	対前年同月比	81%	21%	57%	105%	115%	112%	117%	112%	113%	113%	113%	107%	98%

インド		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	364	356	395	313	305	293	255	246	280	349	322	297	3,775
	大型	3	3	5	3	4	4	3	3	2	3	3	5	42
	合計	368	360	401	316	308	297	258	248	282	352	326	302	3,817
2020年	小型・乗用車	347	319	158	0	46	139	183	276	346	310	349	332	2,805
	大型	5	4	2	0	0	1	0	1	2	0	1	1	16
	合計	352	323	160	0	46	139	183	277	348	310	350	333	2,821
	対前年同月比	96%	90%	40%	0%	15%	47%	71%	111%	123%	88%	107%	110%	74%

南米		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	304	278	290	311	321	299	334	329	319	325	305	360	3,774
	大型	13	12	12	13	14	12	14	15	14	15	14	14	161
	合計	316	289	302	324	335	311	348	344	333	340	318	374	3,936
2020年	小型・乗用車	277	264	206	65	93	179	219	234	283	298	301	338	2,756
	大型	12	10	9	5	7	13	14	13	13	13	13	16	140
	合計	289	274	216	70	100	192	233	247	295	311	315	354	2,896
	対前年同月比	91%	95%	71%	22%	30%	62%	67%	72%	89%	91%	99%	95%	74%

その他		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	240	240	297	237	271	296	239	243	286	290	297	323	3,258
	大型	33	35	38	29	34	39	36	36	41	39	36	34	429
	合計	273	275	335	266	305	335	275	279	326	329	332	357	3,687
2020年	小型・乗用車	177	196	182	72	117	228	211	176	215	234	233	246	2,286
	大型	31	33	27	7	19	34	35	32	34	33	34	32	351
	合計	208	229	209	79	136	262	245	208	249	267	268	277	2,637
	対前年同月比	76%	83%	62%	30%	45%	78%	89%	74%	76%	81%	81%	78%	72%

その他のうち日本		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年	小型・乗用車	371	395	463	614	366	382	432	441	369	529	305	372	5,040
	大型	16	12	16	26	13	14	18	18	20	19	10	13	194
	合計	387	408	479	640	378	396	450	459	388	548	315	386	5,234
2020年	小型・乗用車	349	415	557	259	208	334	383	314	452	394	398	365	4,429
	大型	11	15	24	11	10	13	13	12	17	12	14	15	166
	合計	360	430	581	270	218	347	396	326	469	407	411	379	4,595
	対前年同月比	93%	105%	121%	42%	58%	88%	88%	71%	121%	74%	131%	98%	88%